

令和4年11月29日（火）に町内会役員を対象とした「町内会活性化講座（テーマ編）」を開催しました。講座には18名の方にご参加いただき、「若い世代が参加しやすい町内会活動」について講義を聴いたのち、グループに分かれてワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和4年11月29日（火）14:00～16:00

場所：青葉区役所9階 第1・2会議室

参加者：18名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 松田沙織氏から、若い世代（働き世代や子育て世代を含む）が町内会に関心を持ち、参加してもらうために必要なことやヒントなどの話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、5グループに分かれ、「若い世代と取り組むこれからの地域コミュニティ運営」をテーマに、グループごとに「若い世代に参画してもらうためのアイデア」を出し合いました。最後に、グループで出されたアイデアなどをそれぞれ発表し、全体で共有しました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

● アンケート調査でニーズを探る

- 町内会に求めることについて年代別にアンケート調査を行う（ニーズを調査する）

● 子どもとの交流

- 町内会と子ども会の接点（資源回収や芋煮会など）をつくり、子ども会から町内会活動への参加につなげる
- 夏まつり等を実施する際に、小学生の保護者に積極的に参加してもらい、町内会活動に関わる機会を多くする

● デジタル化

- デジタルの活用により若い世代の声を取り入れるきっかけとしたい

● 交流を増やす

- 身近な人と友達になったり、人間関係を築く
- 地域の人とコミュニケーションを取れる機会を増やす（参加したくなるような行事を多くする）

● 町内会のPR

- 児童館や地域子育て支援センターへ出向き、町内会のパンフレット等を配布し周知する
- 広報誌の発行をする
- 運動会や祭りなどを通じて町内会活動を知ってもらう
- 町内会美化活動、花壇作り等の行事を行い、参加賞を出す

グループごとの意見・アイデア

若い世代が参加しやすい町内会にするために、ホームページなどを活用した情報発信を行い町内会活動を周知することや若い世代のニーズを確認する、参加するきっかけをつくるなどの意見が出されました。そのほかに、子ども向けのイベントの開催や子ども会の意見を取り入れて共同運営をするなどの手法もアイデアとして出されました。

グループA

【アイデア】

- ・ 町内会が何をやっているかわからない人が多いため、ホームページなどで町内会活動の情報発信を行う
- ・ 町内会の仕事が大変とされているため、役員を増やして負担を軽減させる
- ・ 若い世代のニーズを探る
- ・ 町内会のイメージを変える手法を取り入れ、楽しい町内会にする

グループB

【アイデア】

- ・ 子ども会の保護者のつながりがあるので町内会と連携する
- ・ 若い世代が参加するきっかけをつくる
- ・ 役員を輪番制にすることで、若い方の参加のきっかけにつなげる
- ・ グラウンドゴルフや祭りは参加のきっかけになる

グループC

【アイデア】

- ・ 若い人の意見を議題に取り入れる
- ・ 清掃活動は各年代を集める
- ・ 夏まつりで子どもが楽しむコーナーを作る
- ・ 子ども会の意見を取り入れるなど共同運営をする
- ・ 身近な人と友達になるなど人間関係を築く
- ・ 役員会の日程は、若い世代が参加しやすい日程を検討する

グループD

【アイデア】

- ・ 子どものつながりを生かして町内会を活性化させる
- ・ 小学校の保護者などにも町内会を手伝ってもらえるとよい
- ・ 芋煮会をやって集まる
- ・ 学区民運動会に参加して活性化する

グループE

【アイデア】

- ・ 子どもが元気で過ごせるまちづくりのため、子ども向けイベントを開催する
- ・ 紙面だけでなく、SNSで気軽に参加できるコミュニティをつくる
- ・ 災害時に備えて、もっと地域の情報を発信する
- ・ 町内会役員との交流や情報交換を行う

